

鹿児島国際大学での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50

場所：鹿児島国際大学

※ 平成22年度 第4回目

平成22年12月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	男子学生	① 市町村合併をして、良かったことや悪かったことは何か。	① 平成16年11月に、鹿児島市と桜島町、吉田町、郡山町、松元町、喜入町の1市5町で合併をしました。 良かったことは、鹿児島市に新たな資源が加わったことです。また、市域が広がったことで、それぞれの地域の特性を生かしたまちづくりができるということが大きなメリットではないかと思えます。 デメリットとしては、町の地名が消えたり変わったりしたことで、住んでいた方々の環境が変わったということもあろうかと思えます。また、行政サービス等も各自自治体で違いがありましたので、住民の方々にとって著しい変化があったために、「合併してよかったのか？」という印象が拭えないところもあるのではないかと思います。 県内に96あった市町村は、今では43になっています。そのうち、14あった市は19に増えましたが、町村は82から24に減っています。馴染みのあった名前が消えていく中で、郷土色や郷土への愛着に対する意識にも、少し変化があったかと思えます。 これからも、合併したことによるメリットを生かして、まちづくりを進めていかなければならないと思っています。	企画財政局	市長回答のとおり
2	男子学生	② 市の政策を調べてみたが、市街地の改善や環境保全に関することが多すぎる。 私は指宿に住んでいて、平成16年に編入された町と同じような地方の住民だ。私たち地方の住民が一番求めているのは、財政改善ではなく暮らしの改善だ。一人でも多くの方が豊かで便利な暮らしができるように、“芝から人”へお金の使い方を変えてほしい。	② まちづくりや市政運営等については、住民の方々の生活が豊かになること、健やかに生活できることが大きな目的でありますし、目標でもあります。そのために、私はいつも“5K”と言っていますが、環境、観光、教育、子育て、協働、の5つのKを鹿児島市のキャッチフレーズに掲げ、市政運営をしています。そのひとつひとつをそれぞれ推進していくことで、住民の皆さんの生活に潤いと安らぎ、健やかさが生まれてくると思っています。住民が、「そこに住んで良かった。そこで育って良かった。」というまちづくりが一番大切だと思います。 都市部であろうと地方であろうと、市民生活の安定と財産の保全が、私共に与えられた責務ですので、あらゆる事業を実施する上でも、そのことを根底に考える必要があると思っています。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
3	男子学生	<p>③ 鹿児島が目指す都市づくりの中心は観光だと思うが、現在の名産品である黒豚や焼酎、桜島などのアピール力は年々弱まっていると思う。 新しい強みとなるような、アピールポイントを作るべきだ。</p>	<p>③ 今、お話のあったことは私共も十分認識しています。特に、食の観点では、これまで黒豚や黒酢、さつま揚げ、きびなご等の伝統的なものを上手く活用することが、観光振興や観光対策になっていたと思います。しかしながら、ご存知のように来年の3月12日に九州新幹線が全線開業しますと、従来の鹿児島の食文化や歴史、資源だけでは、なかなか他都市との競争に勝てないのではないかと考えています。</p> <p>食に特化してお話しますと、今、「美味のまち鹿児島」という協議会を発足させ、薩摩から“食の維新”を起こそうということで、“薩摩美味(うんまか)維新”という施策を立ち上げ、料理店や商店街、ホテル等と一緒に新たな食材を発掘する事業を推進しています。その試作品が、おはら祭の夜祭で市民の皆さんに提供され、大変好評でしたので、これを鹿児島の魅力ある食材として打ち出していければと思います。</p> <p>これまでも、各都市で「物産と観光展」を開催し、鹿児島の伝統的な食材を販売しており、一定の売り上げはありますが、なかなかそれ以上に伸びません。デパート等からは、「鹿児島は伝統的な食材には力を入れているが、北海道や東北地方と比べて、新たな食材や商品についての意欲が少ないので、まだまだ研究する余地があるのではないか。」というお話も伺っていますので、これからは、新たな食の魅力を観光の目玉として作っていければと思います。</p>	経済局	<p>“美味のまち鹿児島”づくり協議会では、平成21年度より「食」をテーマにした新たな鹿児島の魅力づくりを行っております。今年度は、飲食店や通り会、食関連企業など、市民の方々が主体となった実行委員会を設立し、「食」をテーマにした一連のイベントやキャンペーン等である“美味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」に取り組んでいるところでございます。今後は、この「薩摩美味維新」を通して、鹿児島の「食」の情報発信を行ってまいります。</p> <p>また、今後も引き続き、神戸並びに福岡での物産観光展を開催するとともに、県内外での各種イベント等においても鹿児島の産品を広くPRし、販路の拡大を図るほか、県などと開催している新特産品コンクールや、事業者の要望に応じて専門家を派遣する製造業アドバイザー派遣事業等により、新しい商品の開発の支援にも努めてまいります。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	男子学生	④ 市長に就任されてから現在に至るまで、鹿児島市がどのように変わったか。	<p>④ 私が市長に就任して2期目で、6年になります。が、首長として、自分のまちづくりの方向性を公約（マニフェスト）に掲げ、その上で市長という職責を担うようにしています。それまでは、都市基盤のハード事業等に力を入れていたように思いますが、私はソフト事業に力点を置いてまちづくりを進めていきたいと思っています。</p> <p>2期目は、“人とみどりが輝くまち・かごしま”をスローガンに、鹿児島を潤いや安らぎのある、そして色々な面で環境に優れている街にしたいと思っています。例えば、教育や建設、保健福祉・医療等のあらゆる分野においても、環境に重点を置いた政策を立ち上げていきたいと思っていますし、これまでもそういう立場でやってまいりました。</p> <p>そして、1期目の集大成として、2期目のまちづくりについては、観光、環境、教育、子育て、協働という“5つのK”を大きな指針として進めています。今後もソフト事業を中心に取組みを進めることで、鹿児島島の魅力が色々な分野から生まれてくるのではないかと考えています。</p> <p>具体的には、市電軌道敷の緑化や子育て交流館の改修、そして協働と言えば、このように皆さんと一緒にしてお話をしてまちをつくっていく、そういうこともこれまで私が進めてきた実績ではないかと思っています。</p>	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	男子学生	<p>⑤ 国の事業仕分けの影響で、天文館のシネマハウスが規模を縮小し、開設時期を延期したことについてどう思うか。</p>	<p>⑤ 九州新幹線全線開業を見据え、鹿児島市では中心市街地を活性化するという視点から、「中心市街地活性化基本計画」を策定しています。その中で、天文館地域に映画館があれば、人が回遊し、人通りが増えるのではないかとということで、地元の方々が中心になって建設の機運が高まっています。</p> <p>お話がありましたように、この事業計画は国の採択が必要であることや、地域の皆さんの賛同や資金の提供がなければ成立しないことから、それらが障害になっているのではないかと思います。取組んでいる方々は「街を活性化しよう。天文館に再び賑わいを取り戻そう。」という大きな目標を持っておられます。少し規模は小さくなりましたが、この事業には市も積極的に関わり、事業の推進を支援していきたいと思っています。事業主体の方々の熱い意欲を見守っていききたいと思います。</p>	経済局	<p>この計画は、昨今の厳しい経済状況の中で、中心市街地の活性化のために、地元の方々の方々をはじめとする経済界が一丸となって取り組む事業であり、市としても、早期の開業を期待していたところです。</p> <p>関係者の方々においては、建設計画を延期し、事業計画を見直した上で、地元の方々の理解を得て、より優れた施設を整備、運営できるようにとの思いで、現在、事業を進められております。市としても、この事業は、いづろ・天文館地区のにぎわい創出を図る重要な事業であると考えていますので、速やかに事業推進が図られるよう期待しているところです。</p>
		<p>⑥ 九州新幹線の全線開業に伴って多くの県外客が鹿児島に来ると思うが、日帰りが増えることも懸念される。 夜でも楽しめるようなまちづくりをすべきではないかと思う。</p>	<p>⑥ お話がありましたように、九州新幹線の全線開業は、鹿児島市や県にとって良いことばかりではないと思います。鹿児島が、福岡まで1時間20分、大阪まで3時間45分で結ばれ、日帰りできるようになると、大都市に支店や営業所等が集約される可能性もあります。</p> <p>そういうことに打ち勝つためには、都市の魅力を高める必要があると思います。鹿児島は、歴史や文化、温泉、自然等では他の都市に勝るものがあるかと思いますが、まちの回遊性、特に夜の回遊性がまだまだ足りないと思っています。市としては、中央駅から中心市街地を通って北埠頭のある港、そして桜島という、回遊性のあるまちづくりを進めていくことで、九州や関西から鹿児島へ多くの人たちに来ていただける、そういうプロジェクトがあればと思います。</p> <p>そのひとつは、夜の観光の目玉を作ることであり、現在、昼間に走っているシティビューを夜間も走らせてはどうかという話もありますので、ある程度時間をかけて回遊していただけるようなまちづくりをしていきたいと思っています。</p>	経済局	<p>夜も楽しめるまちづくりについては、彩り豊かな魅力ある鹿児島の夜を演出するため、公共施設のライトアップやイルミネーションの設置、夜景スポットを周遊するシティビューの運行など、滞在型観光を推進しているところです。</p> <p>また、新たに今年度から、天文館とドルフィンポートを結ぶマイアミ通りなどでイルミネーションを実施し、みなと大通り公園やドルフィンポートのイルミネーションをつなぐ「冬季光の回廊」を創出しています。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	男子学生	⑦ 鹿児島市の繁栄には天文館の活性化が必須だと思うが、具体的な対策があれば教えてほしい。	⑦ 今、天文館を含む中心市街地の活性化に取り組んでおり、甲突川の左岸と右岸を整備したほか、清滝川通り路上駐車場跡を散策できる街並みに整備しました。その先の天文館公園は街中の空間施設として整備していきますし、その近くの空き地で、元エンパイアビルがあったところは、花と緑にあふれた憩いの場所にしていきたいと思っています。 また、今年の5月には市内の7か所に“観光オブジェ”を作りました。江戸末期から明治維新にかけて活躍した、鹿児島出身の偉人たちをオブジェにして、それを巡る回遊性のある観光案内を作りました。 そして、観光案内をしていただくボランティアガイドを募集して、維新ふるさと館や西郷南洲顕彰館などで観光客の皆さんをお迎えし、鹿児島の良さを知っていただく取組みを行っています。多くの皆様方に鹿児島に来ていただく仕掛けや、きっかけになればと思います。人と人が接することで、鹿児島の温かさ、おもてなしの心を観光客の方々に伝えできれば、再び鹿児島を訪れていただけたらと思いますし、そういうことを中心市街地を中心に実施していきたいと思っています。	経済局	天文館は南九州随一の繁華街であり、鹿児島の顔の一つであります。この地区の活性化については、本市が鹿児島市中心市街地活性化基本計画をつくって、行政と民間が一体となってまちづくりに取り組んでいます。 来街者を増やし、合わせて回遊性の向上を図るために、商店街やWe Love 天文館協議会が行うイベントや地域の商店街が作るアーケードや街路灯の設置に対する助成を行っておりますし、地域の核となる集客施設であるマルヤガーデンズに対しても支援を行いました。また、商業関係者の方々が取り組んでいる映画館の復活に対しても、市の土地を貸したり、補助を行う予定です。 現在、平成19年に国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画に基づいて、天文館を含む中心市街地の活性化に取り組んでおり、具体的な施策として、 ・清滝川通り整備事業 （路上駐車場を廃止し、歩行空間を整備） ・呉服町6番街区等整備事業（マルヤガーデンズ） ・鹿児島ぶらりまち歩き推進事業 （観光ボランティアガイド） ・街なか空き店舗活用事業（空き店舗への補助） ・“味のまち鹿児島”魅力づくり事業 （「食」をテーマに新たな魅力づくり） ・中心市街地にぎわい支援事業 （まちなかサロンの運営等） ・いづろ・天文館地区回遊空間づくり推進事業 （回遊性向上の社会実験等） ・東千石町19番街区整備事業（天文館シネマの整備） ・“We Love天文館”活性化事業 （市電ワンコインの日などソフト事業） など、官民一体となって実施しているところです。 今後も、天文館公園のリフレッシュ事業やテンパーク通りの緑化整備など、新たな事業に取り組みながら活性化を図ってまいります。 これまで、九州新幹線の全線開業に向けて、歴史ロード“維新ふるさとの道”や観光交流センター、観光オブジェの整備のほか、鹿児島ぶらりまち歩きの実施など、ハード・ソフトの両面からの取組みを進めてきたところであり、鹿児島中央駅からいづろ・天文館地区への回遊性の向上を図ることで、中心市街地の活性化に取り組んでいるところです。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	男子学生	⑧ 人工島の今後の活用方法をお聞きしたい。	<p>⑧ 人工島（マリポートかごしま）は県が整備しており、今は1期2工区の埋立を進めています。県としては、2工区の埋立が終了する時点で検討するというのですが、今は大型観光客船の寄港地になっています。埋立後に緑地として整備するという話もありますが、具体的にはこれから県の方で決めていかれると思います。</p> <p>県が事業主体として整備していますが、鹿児島市内にある施設であり、本市も予算を出して整備を進めていますので、どういう形でマリポートが整備されるかということは、我々も常に関心を持って見ていかなければならないと思っています。</p> <p>今の県の考え方では、災害等が起こったときの避難場所として活用できる緑地空間と捉えていると聞いています。</p>	建設局	市長回答のとおり
8	男子学生	⑨ 市長は広く市民の声を聞き、市民と一緒にまちづくりを進めておられるようだが、逆に、市長の方から市民や若い人へお願いすることがあれば教えてほしい。	<p>⑧ これまでは、どちらかと言うと行政が主体となって、市民の皆さんの意見・提言をいただくというスタイルが多かったように思いますが、これからの時代は、逆に行政は下支えをするというまちづくりが必要ではないかと思えます。市民の方々から、やりたいことをどしどし提案していただきたいと思っています。特に、学生の皆さんの若い感性や発想というのは大変貴重ですし、これからの鹿児島市を担っていく皆さんのご意見が、今後の市の方向性を決めていくと思っています。</p> <p>今、鹿児島市の今後10年間のまちづくりの方向性を示す「第5次総合計画」を作りつつあります。平成24年から10年の計画で、策定の際には鹿児島国際大学でも学生会議を開催しますので、是非皆さんにも参画していただき、一緒になって鹿児島のまちづくりを考えていただきたいと思います。市民の方々にも色々な観点がありますので、その意見を全部とり入れて施策を実行するのは無理ですが、今後のまちづくりをどのように進めていくべきかという時の判断材料になります。</p> <p>もう一つは、今、人と人、人と地域との関係が希薄になっていますが、皆さんが住んでいる地域の行事等に積極的に参画していただいて、地域の皆さん方との意見交換をしてほしいと思います。</p>	企画財政局 市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	男子学生	⑩ 子ども手当は、子育てに対する支援金としては高額だと思うが、市長はどう考えているか。	<p>⑨ 子ども手当は、今の政権の施策として実施されていますが、国の財政状況が厳しい中で、当初予定の半分である1万3千円が支給されています。鹿児島市の事業としてどう考えるかということは、なかなか難しいですが、私が全国市長会で意見交換する中で、それぞれの市長さんたちのご意見は、「子ども手当をそれぞれの家庭に配って、各家庭で子どものために使っていただくということを否定するものではないが、その効果が見えない。」というのが現状ではないかと思えます。我々としては、子ども手当の全額ではなく、その一部でも各自治体が子育て支援に係る施策に使えるような柔軟な対応がとれば、子育て環境の充実に繋がるのではないかと考えています。</p> <p>鹿児島市でも、保育園に行けない待機児童が1,000人を超えますし、保育施設を拡充するには相当の予算が必要になりますので、そういうものに一部特化をしても良いのではないかと考えています。</p>	健康福祉局	市長回答のとおり
10	男子学生	⑪ 学校の校庭を緑化する狙いは何か。 市内のどれくらいの規模の小学校で緑化事業を進めているのか。	<p>⑪ 校庭の緑化は、環境対策として実施しています。鹿児島は日差しが強く、外で素足になって走り回れるところも、ゆっくりと座れるところもない。そこで、校庭に芝生があって、そこで素足で走り、そこで語らうような場が必要ではないかと考え、校庭緑化を実施しています。</p> <p>今、校庭を全面緑化しているのは皇徳寺小学校が1校だけですが、今後、学校の要望等に基づいて進めていきたいと考えています。実施できないスポーツが出てきたり、土の感触が得られないといったご意見もありましたが、全面緑化への評価は概ね高く、素足で走れるとか、転んでも大きな怪我になりにくいか、良い面も多くあります。</p> <p>芝を張ることは、地球温暖化への対策にも繋がりますし、目にも体にもやさしく、プラスの面が大きいと考えていますので、今後も進めていきたいと思えます。</p> <p>また、芝の管理は地域にお願いしたいと考えています。地域の皆さんで管理をしていただくことで、地域の繋がりも出てきますし、管理の大切さを皆さんにもご理解いただけたらと思っています。</p>	教育委員会	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	男子学生	⑫ 中国や韓国など海外から観光客を呼び込むため、どのような誘致活動をしているか。	⑫ 今、鹿児島市と県では、東アジアを誘客のひとつのポイントとして取り組んでいます。特に、中国は多くの人口を抱えており、そこからの観光客というのが最も重要と考えています。本市は県と一緒に、上海に特産品協会の事務所を設けており、そこが鹿児島県の上海事務所を兼ねています。そこを中核拠点として、県・市や他の自治体のPRをしています。伊藤知事もそうですが、私も機会があるたびに中国や韓国等を訪問して、トップセールスをしています。 国内の観光客については、それぞれの都市が頑張っていて、今後は大きな増加が望めませんが、海外からの観光客誘致を進めていかなければならないと考えています。その中で、中国からの観光客を増やすのが目標です。 そして、市内に来られた時のために、中国語や韓国語の観光案内を随時設置してお迎えしたいと思います。言葉の壁を乗り越えた対応策も進めています。	経済局	アジア地域からの観光客の誘致につきましては、これまで、韓国や中国、香港、台湾でのトップセールスやプロモーション、海外観光客船の誘致などを行ってきているところです。 アジア地域、特に経済成長著しい東アジアからの観光客誘致は、国際観光都市鹿児島にとって重要な施策の一つでありますことから、より一層、積極的なPRと誘致活動を行っていくとともに、受入体制の更なる充実にも取り組んでいく必要があると考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
12	男子学生	<p>⑬ 九州新幹線が全線開業すると観光客は増えると思うが、逆にストローク現象が起きて県内の人には県外に行ってしまうかもしれない。県内の人を市内に人を引き込む方策は何か。</p>	<p>⑬ お話のあったとおり、九州新幹線の全線開業は鹿児島市にとってメリットもありますが、デメリットもあると思います。例えば、営業所や支店が福岡に移ってしまう可能性があり、そうになると従業員が福岡に移ってしまったり、鹿児島の方々が職を失ったりするデメリットもあろうかと思えます。</p> <p>福岡や熊本と競争することも必要ですが、鹿児島の新たな魅力を造り出さなければならないと思います。鹿児島には歴史や文化、桜島を中心とする豊かな自然、温泉など、他の都市には無い多くの魅力がありますが、それに加えて、街の回遊性や新たな食の魅力等に取り組んでいかなければならないと思っています。</p> <p>また、鹿児島市だけの取組みでなく、九州新幹線沿線の熊本や福岡と連携し、お互いに協調・協力をしながら、それぞれの都市の活性化にも繋げていかなければならないと思います。今、これらの三市連携協議会を作って、九州全体の浮揚に繋げようとしています。</p> <p>私達も新幹線全線開業を喜んでばかりは出来ないことは認識していますので、できるだけその効果を引き出せるように取り組んでいきたいと思えます。</p>	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
13	男子学生	⑭ 市長として成し遂げたいこと、これだけはやりたいというものがあれば聞かせてほしい。	⑭ 私は鹿児島を、“住んで良かったと思える街、また来たいと思える街”にしたい、鹿児島にある資源を活かして、街の活性化に繋げていかなければならないと思っています。鹿児島市で生まれ育った若い皆さんのような方々に、できるだけ地元で活躍していただき、若い人たちの力が発揮できるようにまちづくりができればと思います。 その中で、環境の視点に特化したまちづくりを進めることで、他の都市には無い、魅力的な街になっていけばと期待をしていますし、また、住んでみたい街になるのではないかと思います。昨今の厳しい財政状況等もありますので、なかなか自分の思うようにいきませんが、子育て支援を充実させたり、観光や教育の面でも充実させたり、あらゆる分野で努力をしていかなければならないと思っています。	企画財政局	市長回答のとおり
14	女子学生	⑮ 城山から桜島が見えるように、建物の高さ制限をしている条例があると聞いたが、もっと広い範囲で（桜島が）見えるように制限できないか。 目に見える風景も、環境に含まれるのではないかと思う。	⑮ 景観というのも、環境や観光の大きな目玉になると思っています。 お話のあったように、本市では景観条例を作って、城山から桜島や錦江湾がしっかりと見えるよう対策をとっています。これについては、色々と紆余曲折もありましたが、最終的には鹿児島の街の景観を高めるため、条例を作って制限をかけているところです。 景観を良くすることは、鹿児島の街のイメージアップになりますし、鹿児島のシンボルである桜島や、城山から見る市街地というのは、大きな財産だと思います。 今は、城山からの視点で景観条例を作っていますが、他の地域でも同じような形でできるかについては、今後の課題として検討していかなければならないと思っています。	建設局	桜島の眺望確保を目的とした建築物等の高さの制限には、まず、視点場と制限範囲の設定が必要になります。 本市景観計画の中では、今後城山展望所以外で視点場とする必要があると認められる場所があった場合は、景観条例の規定に基づき定めることとしています。 高さ制限を設けることは、地権者の権利を大きく制限することにつながることから、新たに視点場を定める場合には、その場所からの眺望の重要性が広く市民の皆様に認識されるとともに、高さ制限について当該地域の地権者等から理解を得る必要があると考えています。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
15	男子学生	⑯ 鹿児島市が行っているデフレ対策、雇用対策としてどのようなものがあるか。	⑯ 現在の雇用情勢は、大変厳しい状況にあります。私共はそれぞれの企業を訪問して、できるだけ雇用してほしいというお願いをして、各企業への努力を求めているところです。商工会議所や商工会など、企業の社長さんたちが集まる団体にも、雇用の拡大に努めてほしいとお願いしています。 また、中小企業の経営安定のため、市として資金融資等を行っていますので、そのことが、雇用の充実にも繋がっていくのではないかと考えています。このような取組みを、今後も拡充していきたいと思えます。	経済局	市長回答のとおり
		⑰ 方言が無くなりつつあるが、鹿児島市は教育でどのようなことをしているのか。	⑰ 地域に残された文化、伝統は継承すべきだと思っています。 芸能の面では、今もそれぞれの地域に残るふるさと芸能を若い人たちに伝承し、地域の財産として残していただきたいということで、毎年、“ふるさと芸能祭”を実施しており、今年で39回目になります。その中で、鹿児島弁などを含め、鹿児島に残っている文化も継承していければと思っています。 教育行政の中で、どのような形で取り組んでいけるかは、今後の課題だと思えますが、そういうものを踏まえた事業等を是非進めていかなければと思っています。	教育委員会	教育委員会では、各学校において総合的な学習の時間等で、郷土の先輩や地域の方々を招いて授業ができるようにするために、「ふるさと先生招へい事業」を行っております。その中で鹿児島弁を学習したり、国語の学習で方言や共通語について学習したりしています。 市長回答のとおり、今後とも鹿児島弁や芸能など郷土に残る素晴らしい文化を継承していくことができるよう、教育委員会としましても支援してまいりたいと思えます。
		⑱ 阿久根市長についてどう思われるか。	⑱ 首長として、それぞれの発言には責任を持ち、そして、自分の考えを市民に説明する責任があると思えます。日本は二元代表制ですので、首長と議会が対等な立場で市の発展のために物事を決め、それを実行していくのが、法治国家としてあるべき姿だと思えます。阿久根市長の考え方があろうかと思えますけれども、地方自治法にのっとった対応をしてほしいと思えます。 最終的には阿久根市長のお考えですので、方針的なことについてはコメントを差し控えたいと思えます。	企画財政局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成22年11月5日（金）16：20～17：50
場所：鹿児島国際大学

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
16	男子学生	⑱ なぜ市長になろうと思われたのか。	⑱ 私は市の職員として30年間勤めてまいりました。平成15年頃に前任の市長がお辞めになるという話があり、そのころ私は1市5町の合併を推進する中で重要な役割を担う総務部長や総務局長をしていましたので、今後のまちづくりを進めていく上で、鹿児島市だけではなく、合併した町に対してどういうまちづくりをしていくかということを考えた時に、これまでの知識と経験、そして、合併に携わった者として、一念発起して市長選に立候補しました。 思いは、おそらく皆さんも一緒だと思いますが、鹿児島市の発展や街の振興への気持ちが強かったというふうに思っています。	企画財政局	市長回答のとおり
17	男子学生	⑳ 私たち学生に、学生生活や今後の人生について何かアドバイスがあれば教えてほしい。	⑳ 皆さんには、日ごろの機会を捉えて、色々なことにチャレンジしてほしいと思います。そして、地域に入って行って、色々な人と話し、意見交換をして、皆さんの考えを伝えてほしいと思います。 若い皆さんは気概と情熱にあふれた方々ですので、恐れることなく、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。そして、その中から生まれるものを、自分の大きな財産として前に進んでほしいと思います。 若いということは、何にも代え難い大きな力だと思いますし、そのエネルギーは計り知れないものがあります。色々な機会を捉えて色々なことにチャレンジする意欲を持ってほしいと思います。	総務局	市長回答のとおり